

おひさまだより

令和2年11月2日発行

横手市婦気大堤字谷地添7-1 (伊藤小児科・内科医院敷地内)

TEL 0182-23-6477 (予約・キャンセル・お問合せ専用)

ホームページ <http://www.ohisama-itocl.net/>

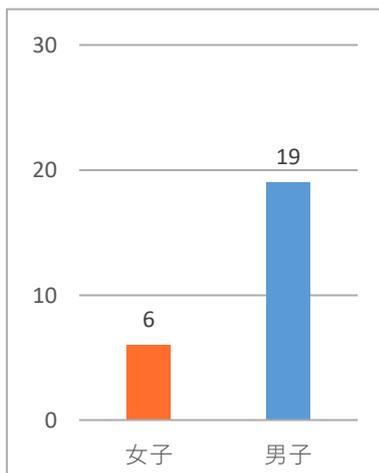


肌に触れる風もだんだんと冷たくなり、晩秋の気配が感じられるようになりました。この時期は朝夕の冷え込みが厳しく、体調を崩しやすくなります。おひさまでも咳症状で利用するお子さんが増えてきました。体調の変化に十分注意して過ごしましょう。今月号からおひさま看護師のコラムが始まります。体調不良時のホームケアの仕方など、役立つ情報を発信していきたいと思えます。

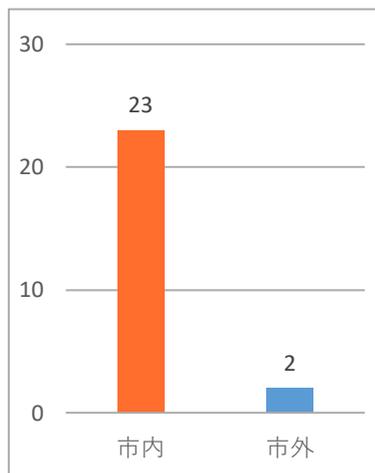
先月の病児保育園おひさまのご利用状況は以下の通りです。伊藤小児科・内科医院の感染症状況もあわせてお知らせいたしますので、どうぞご参考にしてください。

病児保育園おひさま 利用者状況 10月分

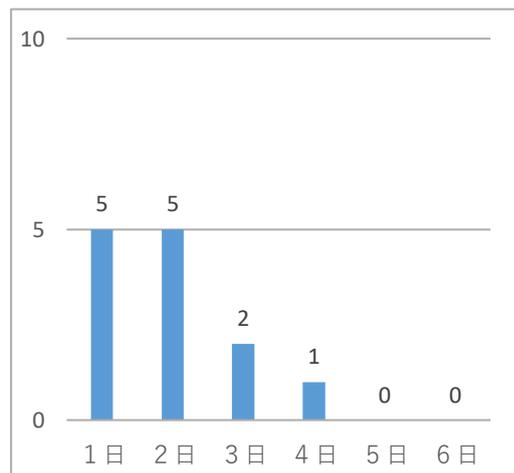
〈性別〉



〈住まい〉



〈連続利用日数〉



〈疾患名〉

	0歳児	1歳児	2歳児	年少	年中	年長	小学生	合計
胃腸炎	1	1	1	4	2	0	0	9
風邪	0	5	2	5	0	0	3	15
口唇ヘルペス	0	0	0	3	0	0	0	3
突発性発疹	0	1	0	0	0	0	0	1
合計	0	7	3	12	2	0	3	28



※ 併発している疾患もすべて含む。

	第一週	第二週	第三週	第四週	第五週	合計
インフルエンザA	0	0	0	0	0	0
インフルエンザB	0	0	0	0	0	0
RSウイルス	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	0	1	4	2	2	9
溶連菌感染症	0	11	2	4	3	20
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0
便アデノウイルス	1	3	0	0	0	4
ノロウイルス	1	0	4	0	0	5
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス	0	0	0	0	0	0
合計	2	15	10	6	5	38



咳き込みが激しい時の対処方法

インフルエンザやRSウイルスが流行する季節となります。

特に乳幼児がRSウイルスに罹患すると激しい咳やゼーゼーの症状が出ます。

咳き込みが激しい時、体を起こし抱っこや座った姿勢をとらせてみましょう。上体が少し上がるように枕やクッションで高さをつけ、横向きに寝かせると呼吸がスムーズになり、痰も絡みにくくなります。咳が落ち着くまで抱いて背中を軽くトントンと叩いたり、さすってあげてください。寝かせる時はやや上体が上がっていると呼吸がしやすくなります。

幼児の場合は、寝ているより座った姿勢で膝を曲げ、腹筋を緩めた方が楽になります。深呼吸ができる場合は、ゆっくり大きな呼吸をしてみましょう。

咳き込みが酷く眠れない時は受診しましょう。



夜尿症（おねしょ）について

10月に入り寒い日が増えてきました。咳や鼻水などの風邪症状で受診されるお子さんが増えています。本格的な冬を前にしっかりと体調を整えましょう。

こどもの夜尿症（おねしょ）は発達とともに解消していきませんが、5歳で20%前後の小児で見られます。年間10~15%ずつ自然軽快しますが、高校入学時でも3%が解消していません。6歳頃が治療の対象となります。治療の1歩は生活指導です。①日中に十分な飲水を行い、夕食後は水分制限を行う（コップ1杯程度）。②夕食は就寝2時間前に済ませる。③就寝前に排尿させる。④夜間に起こさない。⑤睡眠中の寒さから身体を守る。これらに注意しても軽快しない場合は薬物療法となりますので、小児科医に相談しましょう。